

被災地で着物から巾着袋創出

「FUGURO」。温かみのある襟まわりを取り入れた巾着袋。が、東日本大震災で大きな被害を受けた宮城県亶理町のブランドとして、じわじわと認知度が高まっている。袋のルーツはたんすに取っていた古い着物。全国から集めた着物を再利用し、地元在住の女性が自宅で作って商品化する。仕掛け人は一般社団法人「WATALIS」の引地恵代表だ。

故郷で運命の出合い

引地さんは大学卒業後、大日本印刷の東北事業部に女性の総合職として入社した。その後、生まれ育った亶理町の職員に転職した。

亶理の頃は郷土資料館の学芸員で伝統調査を行っていた。亶理町は町の半分が浸水し、一般落した家、浸水していないエリアを対象に調査を再開。その過程でFUGUROが誕生する出合いがあった。それは大きい温泉に行ったときのこと。その家に住むおばあさんから巾着袋を見せてもらったのだ。

おばあさんは自宅で、「もんぺ」をはじめとした作業着を仕立てていた。その際に発生する布切れを利用するのが亶理。中にはコメを入れ、何か使いたときのにお礼として履いていたのだ。今でもちょっとした生地があれは袋を作って豆や野菜を入れて置いている。その話を聞いて「「ありがとう」といえる話



本拠地から集めた着物を活用する



面を指定した生き方は素晴らしい」と思った。

引地さんは、そのおばあさんに「巾着袋の名前は何か」と聞いたところ、「名前なんかない、これは『ふぐろ』だ」という答えが返ってきた。

その後、被災によって金銭判定を下された家の民族調査を行う機会があった。その一つがまさに取り壊されようとしていた、30年ぐらい前に閉店した洋品店。たくさん着物がほりこを積んでいたが「これはもんぺなどに仕立てられる生地だ」と、おばあさんの話を思い出して懐いてこみ袋3つ分の着物をもらう。亶理の女性たちの間で伝承されていた道文化にまつわるストーリーを、全国に広げたい。高校時代の友人や縁と一緒に手探りで「ふぐろ」の製作

WATALIS 引地 恵代表理事

ひさち・めぐみ 宮城教育大学卒業後、大日本印刷を経て宮城県亶理町職員。2012年3月に退職し、WATALISを設立。現職、47歳。宮城県出身。

被災地で作った巾着袋「FUGURO」



に作り出した。

震災復興賞を受賞

本格的な事業を展開するに当たって、引地さんは職員を辞めてWATALISを設立。デザインに対する評価が高く、百貨店などに常設コーナーを開くなどルートも徐々に広がっている。

日本政策投資銀行が主催する「第3回 DBJ女性新ビジネスプランコンペティション」で「震災復興賞」を受賞したことも、販路拡大につながっている。具体事例の一つが、亶理町に絹糸工場を持つアイリスオーヤマとの共同企画。綿着物のコメの包装としてFUGUROが採用されたのだ。

亶理町では復興需要によって仕事が増えているが、建設や整備など男性向けの仕事が増えた。こうした中、WATALIS

「事業は順調に拡大しているようだが

「WATALISブランドは当初、2アイテムで開始したが今では30アイテム以上に達している。ただ、絞り込む時期がきたかと思っている。地元的女性を活用しているので大衆生産に向かない事業モデルだし、着物は有限な販路でもあるからだ。一方で外部とのコラボレーションについては、積極的に関わっていききたい」

「販売手帳も変わってくるのか

「今夜はウェブサイトで販売に力を入れたい。全国の百貨店ルートを開拓していくには人材確保が不可欠で、ハードルが高いからだ。また、亶理町全範囲には常設店舗も開いているので、サイトをきっかけに宮城に足を運んでくれたらうれしい。着物の素材や柄に込められた意味を購入者にきちんと伝えられるようにすることも課題だと認識している」

「海外市場に対する考え方は

「着物のデザインや配色は、日本の文化とか受容感、近縁が象徴されたものかと思っている。日本人の丁寧さ、真面目さを海外に伝えて海外にアピールしていきたい。すでに洋服を基盤として、タイ・バンコクのアンテナショップに出しているほか、ドイツで製かれた商品見本市にも出品した。また、海外向け商品として手芸の教材キットを用意している。材料は着物地。英語のレシピのほか動画のレシピを制作しており、購入者が見ることができるようになる」

Q&A ウェブサイトでの販売に注力



子育てや家事をしながら社会と関わり続ける就労モデルを被災地域に創出している

は、25人の登録メンバーを含め約30人すべてが女性。子育てや介護、家事をしながらも社会と関わり続ける新たな就労モデルを創りだしている。

WATALISでは引地さんをはじめとする3人の理事が、役員も、7月をめどに株式会社

を立ち上げ、販売部門だけを一般社団法人から移す計画。社団は無し、手仕事ワークショップによる交流の場づくりなど、非営利事業を行う。新体制を機に日本だけでなく世界に向けたブランドの発信力を一歩と強化していく考えだ。（伊藤俊祐）

会社概要

- ▷ 本社＝宮城県亶理町字中町22
- ▷ 設立＝2012年4月（13年4月から一般社団法人化）
- ▷ 事業内容＝中古着物地による純粋の製造販売